



第2図 セスナ機による雲と放射の観測

める声は大きい。そういった意味でも、研究の成果を期待したい。この研究は、WCRPの一つとして行われるもので、物理気象、応用気象、気象衛星・観測システム研究部との共同研究である。この他に、気象衛星データと航空機からのTVカメラによる雲観測データを用いて、雲の形状、サイズの統計的分布を解明する研究も行われている。何れの研究も、放射過程を通して雲が気候の中で果たしている役割りを明らかにするのが究極の目標で、担当者の胸の中には将来の大循環モデルの放射過程が描かれている。

以上、気候研究部の研究活動を概観してきたが、結果的に遠近法的紹介になってしまった。関係者の寛大な御理解を望みたい。

「堀内基金奨励賞」候補者の推薦依頼

すでにご存知の通り、日本気象学会では、昨年3月に堀内剛二会員より寄せられた寄付金を基金として、本年度より新たに堀内基金奨励賞を設けることになりました。受賞者選定規定によりますと、同賞の選定は、気象学の境界・周辺及び未開拓の分野における調査・研究・著述等により、気象学及び気象技術の向上に寄与しているものを対象としてなされることになっております。同賞選考委員会は、上の趣旨に沿う最も適切な候補者を選定するため、下記の通り、広く会員諸賢からの候補者の推薦を募ることにいたしました。よろしくご協力を願

い申し上げます。

記

1. 堀内基金奨励賞推薦書

- a) 推薦者所属氏名
- b) 候補者所属氏名
- c) 推薦理由(主たる論文リストを含む)

2. 推薦期限 昭和63年5月31日

3. 宛先 〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁内、日本気象学会
堀内基金奨励賞選考委員会

選挙管理委員の変更について

天気1月号の「日本気象学会第25期役員選挙告示」に掲載された日本気象学会選挙管理委員の変更がありましたのでお知らせします。4月1日をもって下記のようになります。

記

前選挙管理委員長：小野俊行

新選挙管理委員長：里見 穂（気象庁海洋気象部）

前選挙管理委員：元木敏博

新選挙管理委員：菊池 正（気象衛星センター）